

平成18年度 分野チェックリスト

| | | | | |
|-------|-------------|-----|------|---|
| 分野名 | 産業経済・区民生活分野 | | 分野番号 | 4 |
| 分野担当部 | 区民生活部 | 関連部 | | |

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化

| 番号 | 指標名 | 単位 | 指標値 | | | 目標値 | |
|----|------------------------|-----|---------|-------|---------|-------|--|
| | | | 15年度 | 16年度 | 17年度 | 19年度末 | |
| 1 | 高齢者の就労率 | % | (34.3) | 31.3 | (31.3) | | |
| 2 | 商店街の活性化度(従業員一人あたりの売上高) | 百万円 | (32.3) | 32.5 | (32.5) | 増加させる | |
| 3 | みどりの産業事業所数 | 所 | (5,327) | 4,982 | (4,982) | 増加させる | |
| 4 | 若者に対するまちの魅力度 | % | 80.6 | 85.5 | 83.3 | | |
| 5 | 課税所得の平均値 | 千円 | 4,734 | 4,653 | 4,711 | | |

指標の状況、定義は裏面をご覧ください。

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化の状況(分析)

- 3年に1度、介護保険計画見直しに伴う調査に基づく指標であるため、今年度は数値に変更はない。
- 3年に1度、「商業統計調査報告」(東京都)に基づく指標であるため、今年度は数値に変更はない。
- 4年に1度、杉並区新産業実態調査として実施される数値であるため、今年度は数値に変更はない。
- 14年度までは20歳代の区民を調査対象としていたが、15年度から18～29歳までと対象を変更した。区民意向調査による魅力度は引き続き80%を超えているが、前年比では若干の減少となっている。但し、全体の平均は77.1%であるため、若者のほうが、より杉並に魅力を感じていると考えられる。
- 景気の回復傾向に合わせて、課税所得の平均値も3年ぶりに増加となった。対前年比では、納税義務者数が約6500人の像に対し、総所得金額(分離課税分含む)は約94,527千円の増加となり、平均58千円の増加となった。

チェックリストの状況(参考)

| 番号 | 名称 | 関連データ(他自治体との比較等) |
|------|--|--|
| | 定義 | |
| 1 | 高齢者の就労率 | 同様な定義を用いている自治体はないので、他自治体との比較は困難。 |
| | $60\text{歳以上の就労者} \div 60\text{歳以上の人口} \times 100$ (杉並区高齢者実態調査結果 3年に1回) | |
| 2 | 商店街の活性化度(従業員一人あたりの売上高) | 東京都全体 106.0百万円 |
| | $\text{区内年間商品販売総額} \div \text{区内総従業者数}$ (東京都商業統計調査 3年に1回) | 中野区 34.9百万円 豊島区 50.8百万円 板橋区 40.4百万円 練馬区 26.1百万円 |
| 3 | みどりの産業事業所数 | 特別区全体 139,666所 |
| | NTTデータベースから抽出した情報通信、環境、福祉など「みどりの産業」にふさわしい分野の事業所数 (杉並区新産業実態報告書における新産業の事業所数 4年に1回) | |
| 4 | 若者に対するまちの魅力度 | 同様な定義を用いている自治体はないので、他自治体との比較は困難。 |
| | 杉並区区民意向調査における18～29歳までの回答者のうち「あなたは、杉並区のどの地域に最も魅力を感じますか」の問いに「特に魅力を感じる地域はない」と回答した人以外の人の割合 | |
| 5 | 課税所得の平均値 | 中野区 4,124千円 豊島区 4,198千円 板橋区 3,788千円 練馬区 4,245千円 |
| | $\text{総所得金額等(分離課税分含む)} \div \text{納税義務者数}$ (東京都市町村税の課税状況等の調査結果 参考資料:12表関係) | |
| 特記事項 | | |